

【 九 重 町 】

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果（小学校：国語）

1 調査結果の分析

小学校：国語

- 教科の正答率で見ると、国語は全国と比較して－2.2ポイントであった。
- 学習指導要領の領域等の正答率では、「言語の特徴や使い方に関する事項」－3.2ポイント、「情報の扱い方に関する事項」－2.0ポイント、「読むこと」－3.6ポイントが全国平均を下回り、「話すこと・聞くこと」＋0.9ポイント、「書くこと」＋1.9ポイントと、2領域で全国平均を上回った。
- 問題形式別平均正答率では、「選択式」－2.3ポイント、「短答式」－4.8ポイント、「記述式」＋1.3ポイントであった。
- 正答度数分布では12問（14問中）正解の割合が多く、0問～3問のみ正解の児童が5.7%いる。
- 無回答率は3.7%で、全国（4.8%）と比較して＋1.1ポイントであった。

※全国と比較して、特に「言語の特徴や使い方に関する事項」「読むこと」の領域に課題がある。

2 具体的な改善方策

小学校：国語

次のような視点を持って指導を行なっていく。

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるようにする。
- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにする。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるようにする。

【 九 重 町 】

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果（小学校：算数）

1 調査結果の分析

小学校：算数

- 教科の正答率で見ると、算数は全国と比較して－4.5ポイントであった。
- 学習指導要領の領域等の正答率では、「数と計算」－3.5ポイント、「図形」－3.6ポイント、「変化と関係」－4.1ポイント、「データの活用」－4.5ポイントと、すべての領域で全国平均を下回った。
- 問題形式別平均正答率では、「選択式」－2.6ポイント、「短答式」－3.5ポイント、「記述式」－7.3ポイントであった。
- 正答数度数分布では14問（16問中）正解の割合が一番多く、4問以下の割合が14.3%であった。
- 無回答率は5.3%であり、全国（3.4%）と比較して－1.9%であった。

※全国と比較してすべての領域に課題がある。

2 具体的な改善方策

小学校：算数

次のような視点を持って指導を行っていく。

- 正三角形の意味や性質について理解させる。また、高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるようにする。
- 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるようにする。
- 除法の筆算について、計算に関して成り立つ性質や図を基に、各段階の商の意味を考察することができるようにする。

【 九 重 町 】

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果（中学校：国語）

1 調査結果の分析

中学校：国語

- 教科の正答率でみると、国語は全国と比較して－1.8ポイントであった。
 - 学習指導要領の領域等の正答率では、「我が国の言語文化に関する事項」－3.5ポイント、「書くこと」－9.8ポイント、「読むこと」－6.1ポイントと、3領域で全国を下回り、「言葉の特徴や使い方に関する事項」＋1.4ポイント、「情報の使い方に関する事項」＋0.2ポイント、「話すこと・聞くこと」＋3.2ポイントと、3領域で全国を上回った。
 - 問題形式別平均正答率では、「選択式」－2.5ポイント、「短答式」＋0.3ポイント、「記述式」－3.2ポイントであった。
 - 正答度数分布では13問（15問中）正解の割合が多く、4問以下の割合が6.0%であった。
 - 無回答率は4.1%で、全国（4.6%）と比較して＋0.5ポイントであった。
- ※全国と比較して、特に「我が国の言語文化に関する事項」、「書くこと」、「読むこと」の領域に課題がある。

2 具体的な改善方策

中学校：国語

次のような視点を持って指導を行っていく。

- 調べたことなどをレポートにまとめて書く場面において、次のことができるようにする。
 - ・ 読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること
 - ・ 文脈に即して漢字を正しく書くこと
 - ・ 具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること
 - ・ 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと
- 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるようにする。

【 九 重 町 】

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果（中学校：数学）

1 調査結果の分析

中学校：数学

- 教科の正答率で見ると、数学は全国と比較して－9.0ポイントであった。
- 学習指導要領の領域等の正答率では、「数と式」－9.7ポイント、「図形」－14.0ポイント、「関数」－5.0ポイント、「データの活用」－6.6ポイントであり、すべての領域で全国を下回った。
- 問題形式別平均正答率では、「選択式」－7.0ポイント、「短答式」－10.6ポイント、「記述式」－7.7ポイントであった。
- 正答度数分布では4問・5問（15問中）正解の割合が一番多く、3問以下の割合は22.7%であった。
- 無回答率は9.8%であり、全国（9.68）と比較して－0.2ポイントであった。

※全国と比較して、すべての領域に課題がある。

2 具体的な改善方策

中学校：数学

次のような視点を持って指導を行っていく。

- 図形の性質を考察する場面において、次のことができるようにする。
 - ・方針に基づいて解決すること
 - ・筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明すること
 - ・問題解決の過程や結果を振り返り評価・改善すること
- 図形の性質を考察する場面において、事象を数・量・図形等に着目して観察することや、空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解できるようにする。
- 不確定な事象についてデータに基づいて考察する場面において、複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるようにする。

【 九 重 町 】

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果（中学校：英語）

1 調査結果の分析

中学校：英語

- 教科の正答率で見ると、英語は全国と比較して－14.6ポイントであった。
- 学習指導要領の領域等の正答率では、「聞くこと」－14.5ポイント、「読むこと」－14.8ポイント、「書くこと」－14.0ポイントと、すべての領域で全国を下回った。
- 問題形式別平均正答率では、「選択式」－14.6ポイント、「短答式」－17.0ポイント、「記述式」－9.7ポイントであった。
- 正答度数分布では5問（17問中）正解の割合が一番多く、3問以下の割合が31.8%であった。
- 無回答率は4.5%であり、全国（5.7%）と比較して＋1.2%であった。

※全国と比較して、すべての領域に課題がある。

2 具体的な改善方策

中学校：英語

次のような視点を持って指導を行っていく。

- 日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるようにする。
- 文法事項や言語の働きなどを理解して正確に書くことができるようにする。
（疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文・「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書く、など）
- 社会的な話題について、短い文章の要点を捉えて、それに対する自分の考えとその理由を書くことができるようにする。

【 九 重 町 】

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果（児童・生徒質問紙）

1 調査結果の概要

児童質問紙

○小学校の主な項目において、次の項目で全国平均よりも5ポイント以上高い数値を示している。

- ・自分には良いところがあると思いますか
- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか
- ・5年生までに受けた授業でPC・タブレットなどのICTをどの程度使用しましたか
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか
- ・道徳の授業では自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか
- ・国語の勉強は好きですか
- ・国語の授業の内容はよくわかりますか
- ・英語の勉強は好きですか
- ・5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか
- ・5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか
- ・学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

○小学校の主な項目において、次の項目で全国平均よりも5ポイント以上低い数値を示している。

- ・新聞を読んでいますか。
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。
- ・算数の勉強は好きですか。
- ・将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業についたりしたいと思いますか

生徒質問紙

○中学校の主な項目において、次の項目で全国平均よりも5ポイント以上高い数値を示している。

※該当なし

○中学校の主な項目において、次の項目で全国平均よりも5ポイント以上低い数値を示している。

- ・将来の夢や目標を持っていますか
- ・新聞を読んでいますか
- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか
- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。
- ・1，2年生のときに受けた授業で，P C・タブレットなどのI C T機器をどの程度使用しましたか
- ・総合的な学習の時間では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか
- ・国語の勉強は好きですか
- ・国語の授業の内容はよくわかりますか
- ・数学の授業は好きでした
- ・数学の勉強は大切だと思いますか
- ・数学の授業の内容はよくわかりますか
- ・英語の勉強は好きですか
- ・将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業についたりしたいと思いますか
- ・1，2年生までに受けた授業課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいたと思いますか
- ・1，2年生までに受けた授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか

2 九重町の児童・生徒質問紙の調査結果をふまえて

<成果>

- 授業の中でグループやペアでの話し合い活動が仕組まれている。
- 小学校ではコンピュータ等のI C T機器を使用しての学習が行えている。

<課題>

- 中学校では学習に対する意欲が希薄である。
- 小中ともに家庭学習の在り方について再考する必要がある。

以上のことから、新大分スタンダード、小中7年間を見通した総合的な学習の時間を活用した「このえ学」、ペア・グループ活動を取り入れた授業（協調学習も含む）の取組が推進されていると推察できる。しかし、中学校では学習に対する意欲等が希薄であることがうかがえる。

以上のことをふまえ、まずは学習に対する意欲付けを行い、授業やペア・グループ活動における課題の設定についての研究、家庭学習などについて小中が連携した取組をよりいっそう推進していくことが必要である。

【 九 重 町 】

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果（学校質問紙）

1 調査結果の概要

小学校：学校質問紙

○肯定的な回答

- ・児童生徒に対して、学校生活の中で一人ひとりの良い点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行なっている。
- ・教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修会を行なっている。
- ・特別の教科道徳において、取り上げる題材を児童生徒自らが自分自身の問題としてとらえ、考え、話し合うような指導の工夫をしている。

○一部課題が見られる回答

- ・本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行なったか。
- ・学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができたか。

中学校：学校質問紙

○肯定的な回答

- ・教員が大型提示装置等のICT機器を活用した授業をほぼ毎日行っている。
- ・近隣等の小学校と教科の教育課程の接続や教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行なった。

○課題が見られる回答

- ・調査対象学年の生徒は授業中の私語があり、落ち着いていないと感じていない。
- ・生徒が授業に対して積極的に取り組んでいるとは言い難い。
- ・授業の中で、授業者と生徒がICT機器を使用しているやり取りができていない。

2 九重町の学校質問紙調査の結果をふまえて

- 1 教育条件整備
- 2 組織的な学力向上の推進と授業改善
- 3 ここのえ学園基本計画に基づいた小中連携・地域保護者との連携の推進
- 4 ICT機器の更なる活用とサポート体制の強化